

鋳工業指数参考図表集
(平成29年5月速報)

平成29年6月30日

経済解析室

URL : <http://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result-1.html>

平成29年5月の鉱工業指数(速報)各指数の状況

生産・出荷・在庫・在庫率指数

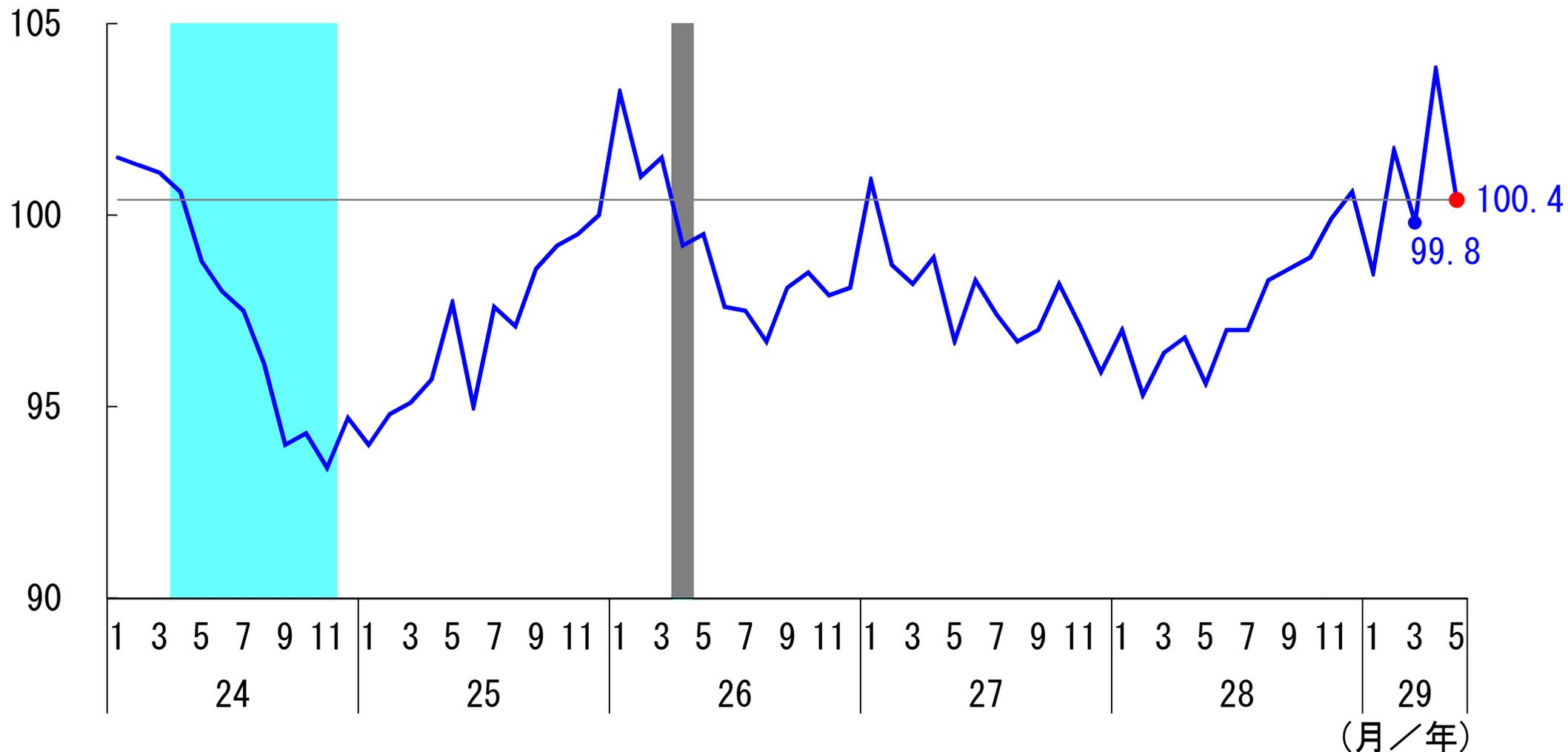
月次	生産	出荷	在庫	在庫率
季調済指数	100.4	98.3	111.4	112.5
前月比	-3.3%	-2.8%	0.1%	-1.9%
指数水準	H29.3 99.8以来 ①H21.2 76.6 ②H21.3 77.6 ③H21.4 81.0	H29.1 97.8以来 ①H21.2 79.2 ②H21.3 79.7 ③H21.4 80.7	H28.6 112.4以来 ⅠH20.12 119.8 ⅡH21.1 119.5 ⅢH20.11 119.1	H29.3 111.5以来 ①H20.2 94.6 ②H20.4 95.9 ③H20.5 97.0
前月比の動き	2か月ぶりー (H29.3以来)	2か月ぶりー (H29.3以来)	6か月連続＋ (H28.12～当月)	3か月ぶりー (H29.2以来)
前月比幅	H23.3 -16.5%以来 ①H23.3 -16.5% ②H21.1 -8.8% ③H21.2 -8.6%	H27.2 -3.2%以来 ①H23.3 -15.7% ②H21.1 -9.5% ③H20.12 -7.1%	H29.4 1.5%以来 ⅠH23.5 4.7% ⅡH24.3 2.5% ⅢH22.12, H23.4 2.3%	H28.11 -3.7%以来 ①H23.6 -11.7% ②H21.6 -6.7% ③H21.3 -6.0%
前年同月比(原指数)	6.8%	5.5%	-1.2%	-3.6%
前年同月比の動き	7か月連続＋ (H28.11～当月)	7か月連続＋ (H28.11～当月)	12か月連続ー (H28.6～当月)	7か月連続ー (H28.11～当月)
前年同月比幅	H26.3 7.4%以来 ⅠH22.3 29.2% ⅡH22.2 28.8% ⅢH22.4 23.8%	H26.3 6.5%以来 ⅠH22.3 28.4% ⅡH22.2 27.0% ⅢH22.4 25.4%	H29.3 -4.0%以来 ①H21.12 -17.6% ②H22.1 -16.8% ③H21.11 -16.4%	H29.3 -5.1%以来 ①H22.2 -34.0% ②H22.3 -33.8% ③H22.1 -32.1%

1) Ⅰ～Ⅲは22年基準における最大値から上位3位まで、①～③は最小値から下位3位までの数値

鉱工業生産指数の動向

- 平成29年5月の鉱工業生産指数は、100.4(前月比-3.3%)と2か月ぶりの低下。
- 平成29年3月の99.8以来の指数水準。

(22年=100、季節調整済)



- (注) 1. 鉱工業指数(IIP)とは、月々の鉱工業の生産、出荷、在庫等を基準年(現在は、平成22年)の12か月平均=100として指数化したもので、事業所の生産活動、製品の需給動向など鉱工業全体の動きを示す代表的な指標。
 2. 水色のシャドー部分は、景気後退局面。
 3. 灰色のシャドー部分は、消費税率引上げ。

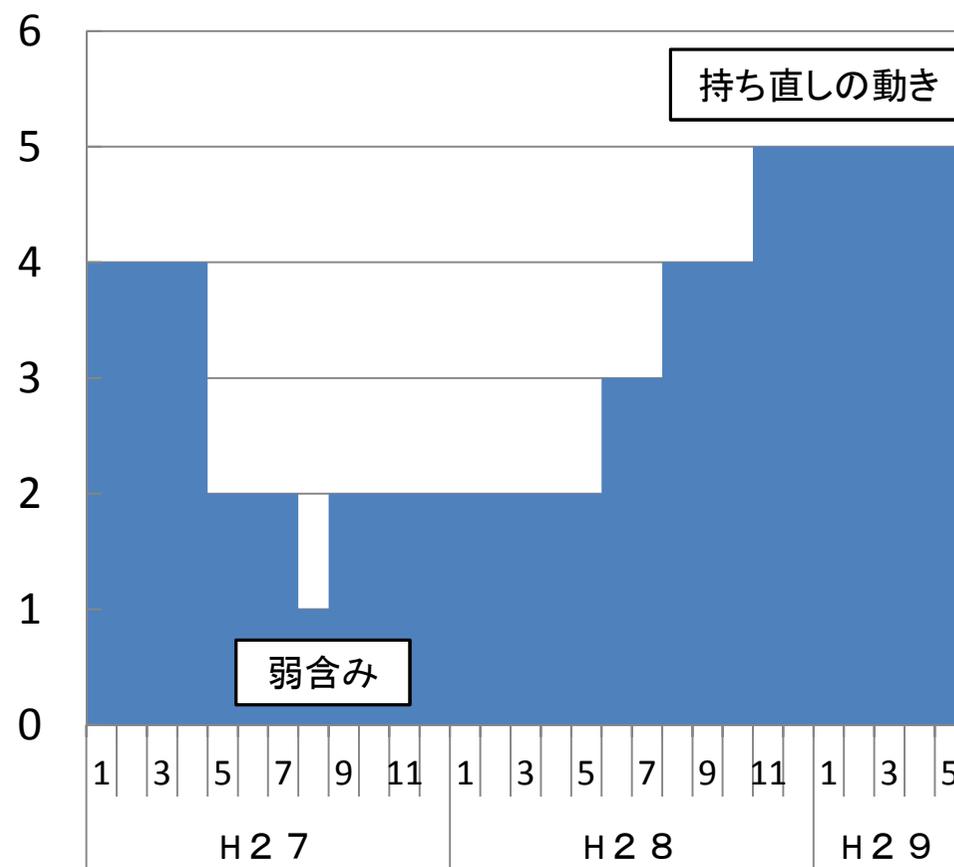
平成29年5月の鉱工業生産の基調判断

「生産は持ち直しの動き」

基調判断の推移

- ・平成26年12月～平成27年4月
「生産は緩やかな持ち直しの動き」
- ・平成27年5月～7月
「生産は一進一退」
- ・平成27年8月
「生産は弱含み」
- ・平成27年9月～平成28年5月
「生産は一進一退」
- ・平成28年6月、7月
「生産は一進一退だが、一部に持ち直し」
- ・平成28年8月～10月
「生産は緩やかな持ち直しの動き」
- ・平成28年11月～
「生産は持ち直しの動き」

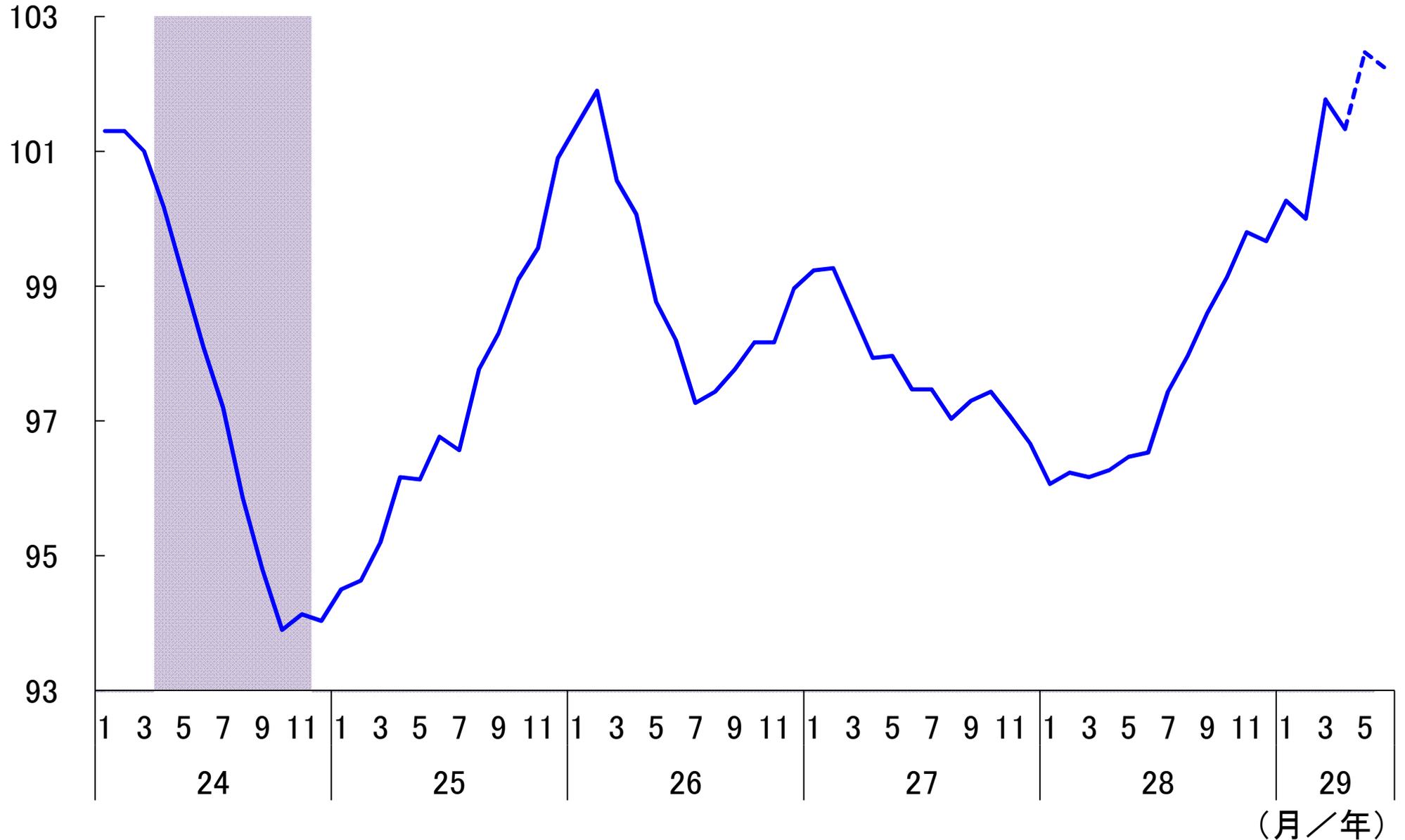
基調判断の変化



(注)平成27年8月の「生産は弱含み」を1として、基調判断が上方修正されたら一律で1上昇、下方修正されたら一律で1低下というルールで作成。

参考：鋳工業生産指数（3か月移動平均値）の動向

（22年＝100、季節調整済）



（注）紫色のシャド一部分は、景気後退局面。

平成29年5月の鉱工業生産指数を大きく動かした品目（業種別）

		業種・品目名	前月比	寄与率
鉱工業生産を 上昇 方向へ 引っ張った3業種の中で 上昇への影響度が大きい 2品目	1位の業種	石油・石炭製品工業	2.3%	1.0%
	品目	石油製品	2.3%	1.0%
		石炭製品	1.9%	0.0%
	2位の業種			
	品目			
	3位の業種			
品目				
鉱工業生産を 低下 方向へ 引っ張った3業種の中で 低下への影響度が大きい 2品目	1位の業種	輸送機械工業	-11.7%	-75.4%
	品目	乗用車	-16.7%	-42.5%
		自動車部品	-11.9%	-27.2%
	2位の業種	はん用・生産用・業務用機械工業	-2.6%	-12.0%
	品目	土木建設機械	-8.5%	-4.6%
		運搬機械	-22.4%	-3.4%
	3位の業種	金属製品工業	-6.3%	-7.4%
品目	建設用金属製品	-14.6%	-3.1%	
	暖ちゅう房熱機器	-8.4%	-1.6%	

寄与率：生産全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い。全93業種の寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら-100%になる。

(注)全体の各品目は、個別品目ではなく、個別品目を統合した分類によるもの。

平成29年5月の鉱工業生産指数を大きく動かした品目（全体・財別）

<全体>

		品目名	前月比	寄与率
鉱工業生産を 上昇 方向 に引っ張った3品目	1位	半導体・フラットパネル製造装置	31.9%	18.3%
	2位	集積回路	6.5%	6.9%
	3位	産業用ロボット	6.7%	2.6%
鉱工業生産を 低下 方向 に引っ張った3品目	1位	乗用車	-16.7%	-42.5%
	2位	自動車部品	-11.9%	-27.2%
	3位	トラック	-20.7%	-9.5%

<財別＝用途別>

		解説	品目名	前月比	寄与率
生産財	原材料として投入される製品	生産財		-2.5%	-38.6%
		アクティブ型液晶素子（中・小型）	-26.1%	-10.1%	
		シャシー・車体部品	-16.8%	-8.7%	
耐久消費財	テレビや電気冷蔵庫など 家計で購入される製品	耐久消費財		-11.0%	-35.9%
		普通乗用車	-18.3%	-30.5%	
		小型乗用車	-16.6%	-6.0%	
建設財	鉄骨やセメントなど 建設投資に向けられる製品	建設財		-4.8%	-8.0%
		橋りょう	-29.9%	-2.8%	
		ガス風呂がま	-10.3%	-0.9%	
資本財 （除. 輸送機械）	クレーンや金属工作機械など 設備投資に向けられる製品	資本財（除. 輸送機械）		-0.5%	-2.5%
		ショベル系掘削機械	-10.6%	-4.5%	
		専用機	-46.0%	-1.9%	
非耐久消費財	食料品や衣料品など 家計で購入される製品	非耐久消費財		0.1%	0.4%
		ファンデーション	22.4%	2.7%	
		化粧水	9.8%	1.4%	

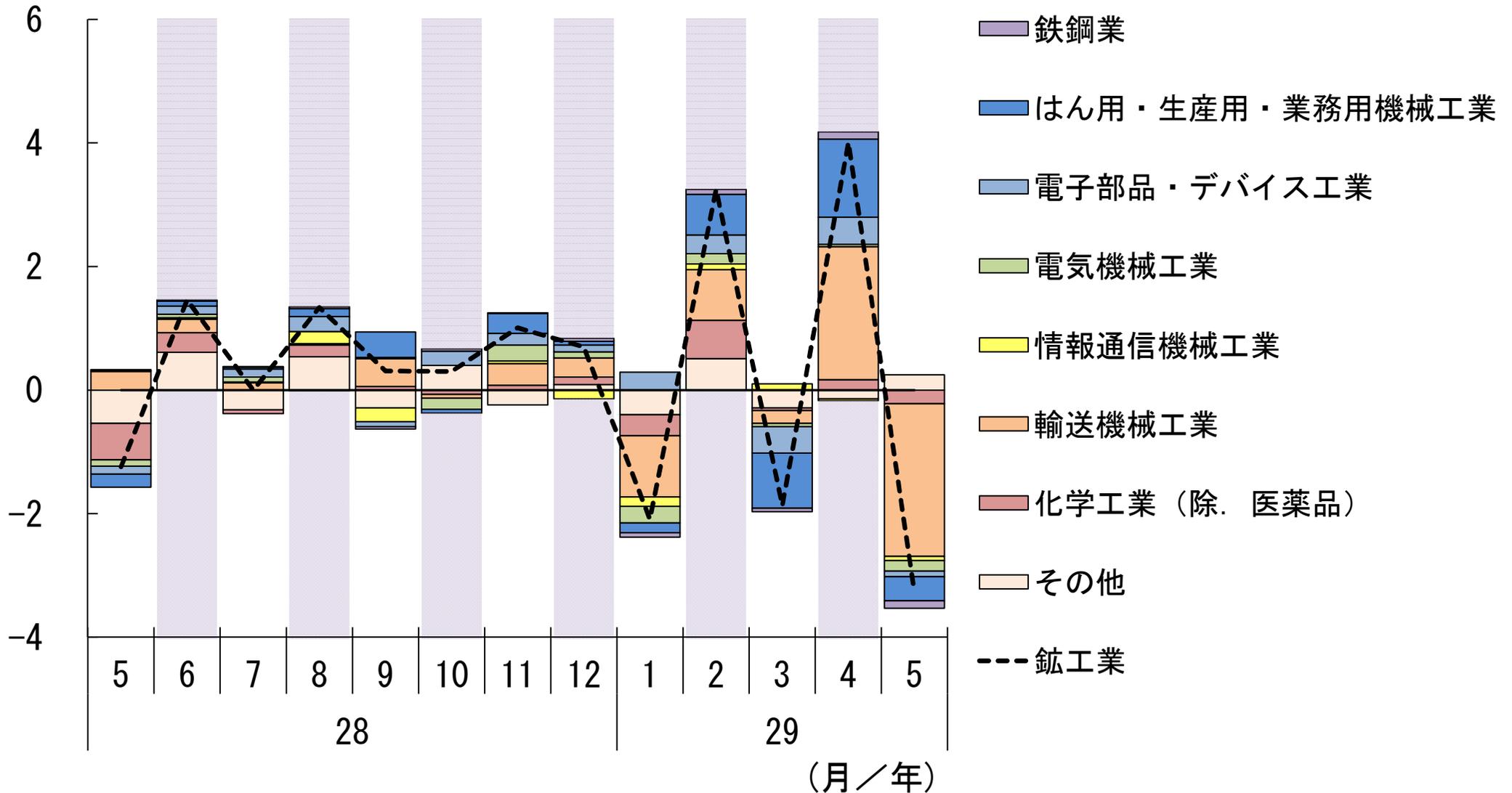
寄与率：生産全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い。全93業種の寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら-100%になる。

(注)全体の各品目は、個別品目ではなく、個別品目を統合した分類によるもの。

鉱工業生産前月比 業種別の影響度合い

- 平成29年5月の生産指数は、輸送機械工業などが低下したため、前月比-3.3%の低下。

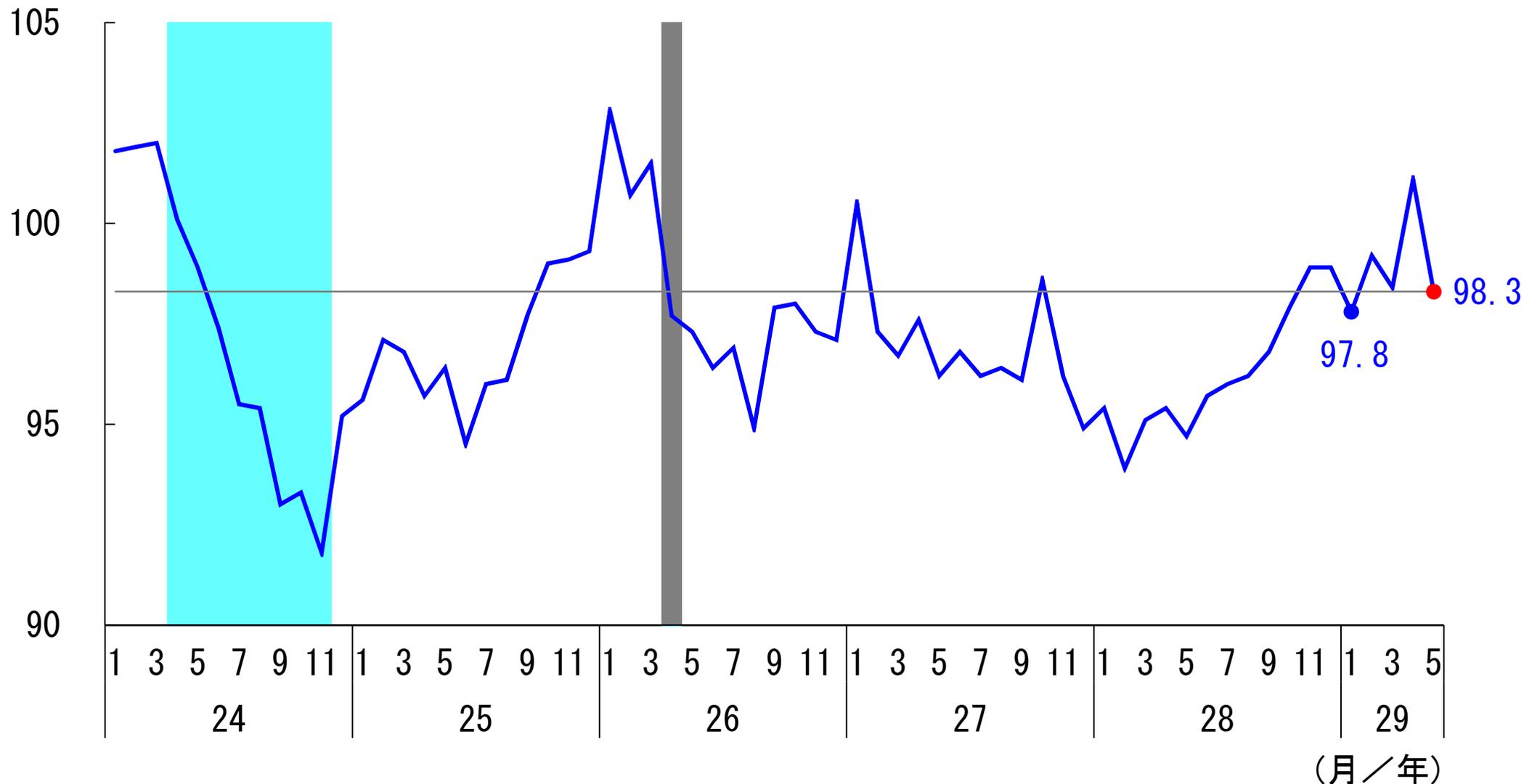
(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



鋳工業出荷指数の動向

- ・平成29年5月の鋳工業出荷指数は、98.3(前月比-2.8%)と2か月ぶりの低下。
- ・平成29年1月の97.8以来の指数水準。

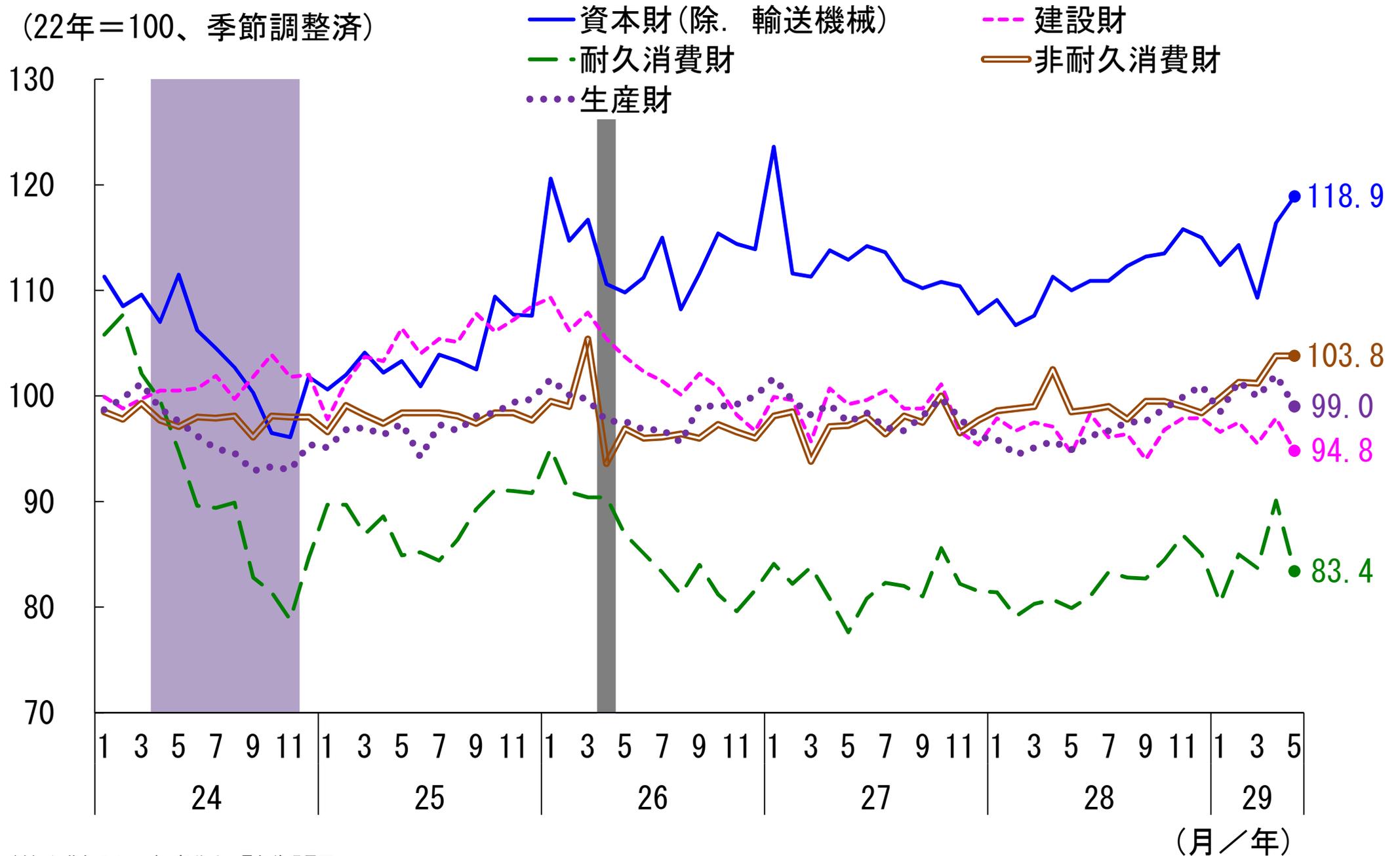
(22年=100、季節調整済)



(注) 1. 水色のシャド一部分は、景気後退局面。
2. 灰色のシャド一部分は、消費税率引上げ。

財別出荷指数の動向

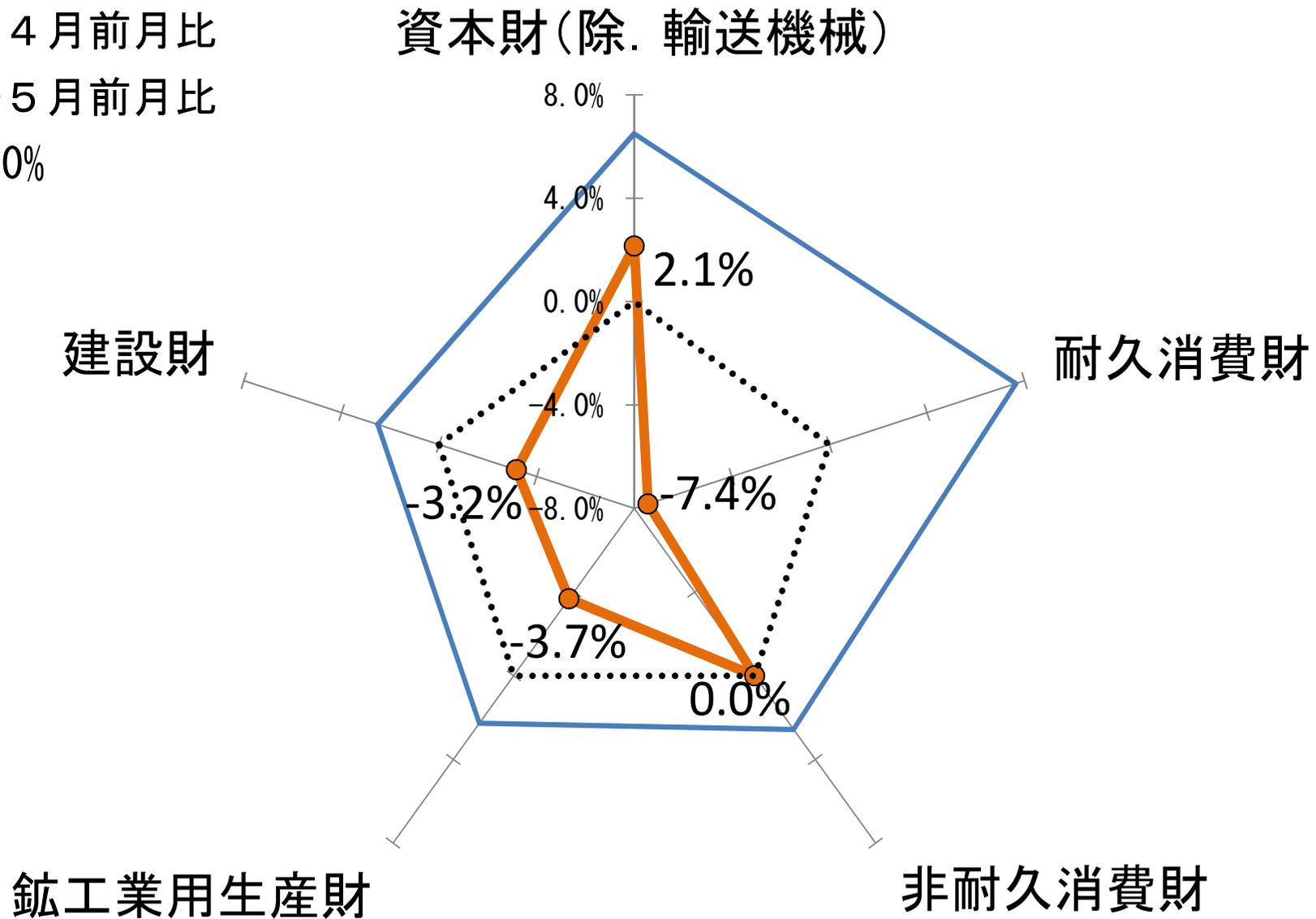
(22年=100、季節調整済)



(注) 1. 紫色のシャドー部分は、景気後退局面。
2. 灰色のシャドー部分は、消費税率引上げ。

財別出荷指数の前月比比較（平成29年4月、5月）

- 4月前月比
- 5月前月比
-0%



平成29年5月の鉱工業出荷指数を大きく動かした品目(財別)

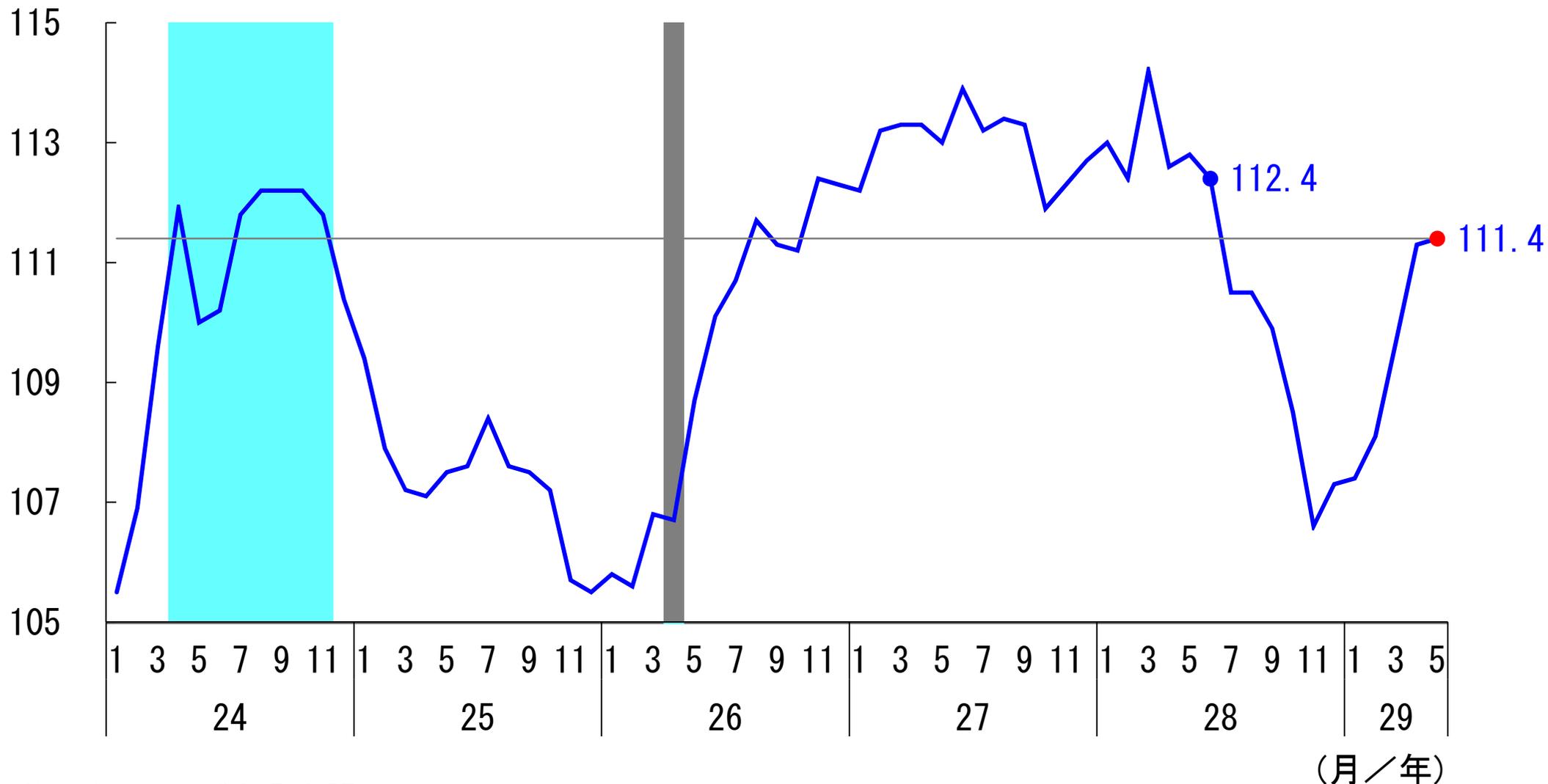
	解説	品目名	前月比	寄与率
生産財	原材料として投入される製品	生産財	-2.9%	-53.9%
		アクティブ型液晶素子(中・小型)	-30.3%	-18.8%
		自動車用エンジン	-15.4%	-10.0%
耐久消費財	テレビや電気冷蔵庫など 家計で購入される製品	耐久消費財	-7.4%	-36.4%
		普通乗用車	-8.0%	-20.1%
		小型乗用車	-19.0%	-13.1%
建設財	鉄骨やセメントなど 建設投資に向けられる製品	建設財	-3.2%	-6.1%
		橋りょう	-29.4%	-2.7%
		H形鋼	-11.7%	-0.7%
非耐久消費財	食料品や衣料品など 家計で購入される製品	非耐久消費財	0.0%	0.0%
資本財	クレーンや金属工作機械など 設備投資に向けられる製品	資本財(除. 輸送機械)	2.1%	10.5%
		フラットパネル・ディスプレイ製造装置	60.5%	8.3%
		半導体製造装置	17.8%	8.2%

寄与率：出荷全体の変動に対して影響を及ぼした、財別の影響の度合い。全ての寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら-100%になる。

鋳工業在庫指数の動向

- ・平成29年5月の在庫指数は、111.4(前月比0.1%)と6か月連続の上昇。
- ・平成28年6月の112.4以来の指数水準。

(22年=100、季節調整済)

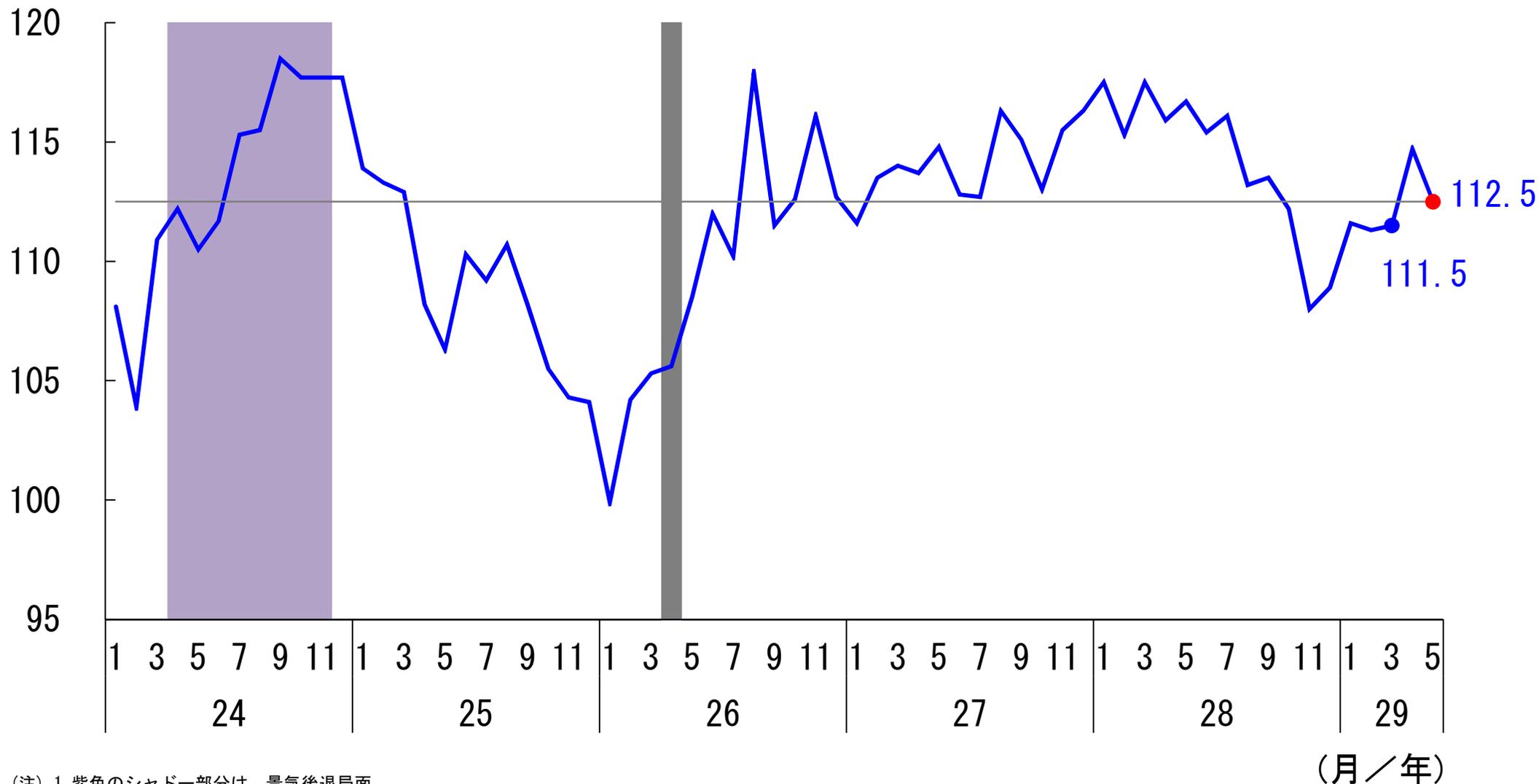


(注) 1. 水色のシャド一部分は、景気後退局面。
 2. 灰色のシャド一部分は、消費税率引上げ。

鋳工業在庫率指数の動向

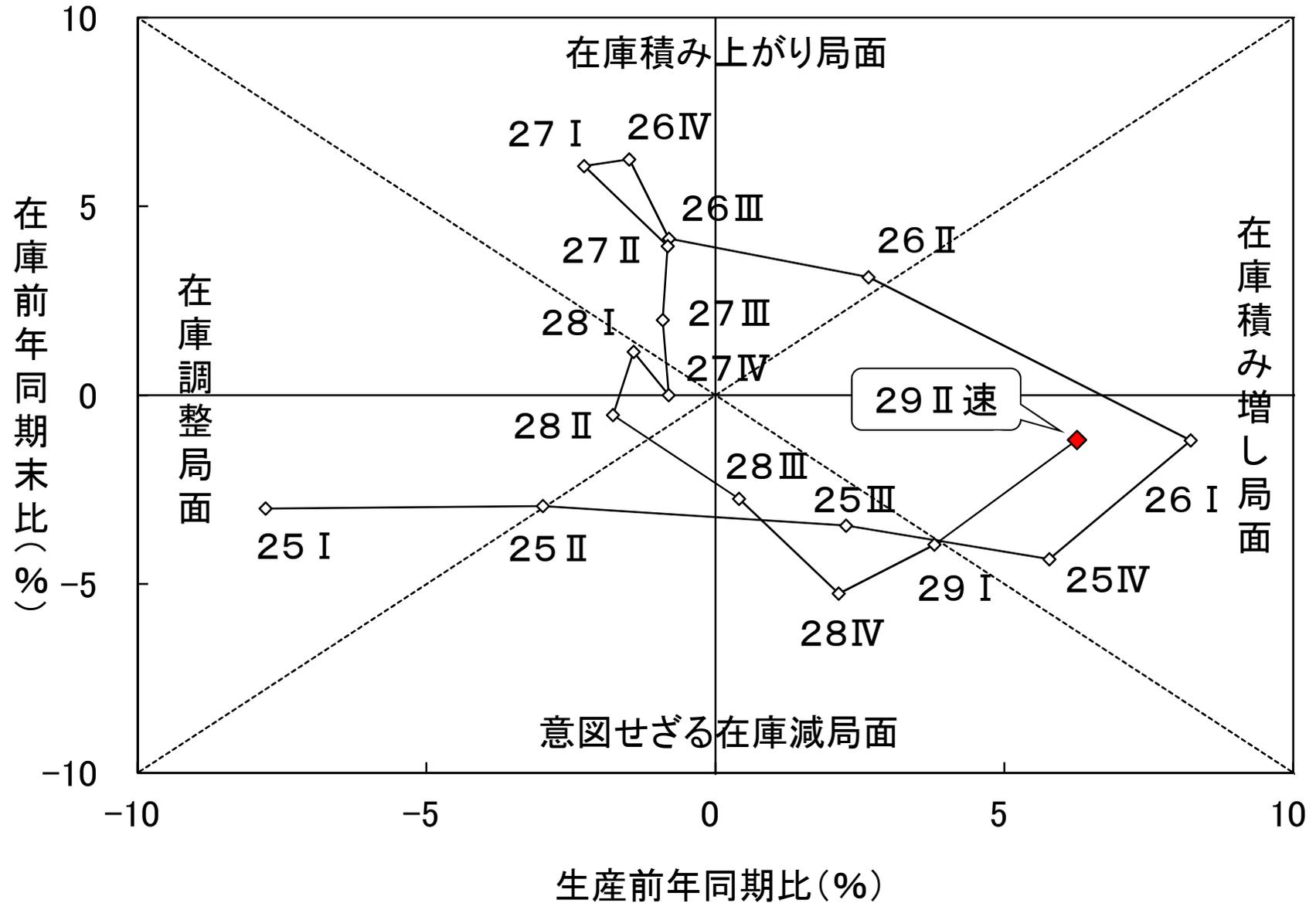
- ・平成29年5月の在庫率指数は、112.5(前月比-1.9%)と3か月ぶりの低下。
- ・平成29年3月の111.5以来の指数水準。

(22年=100、季節調整済)



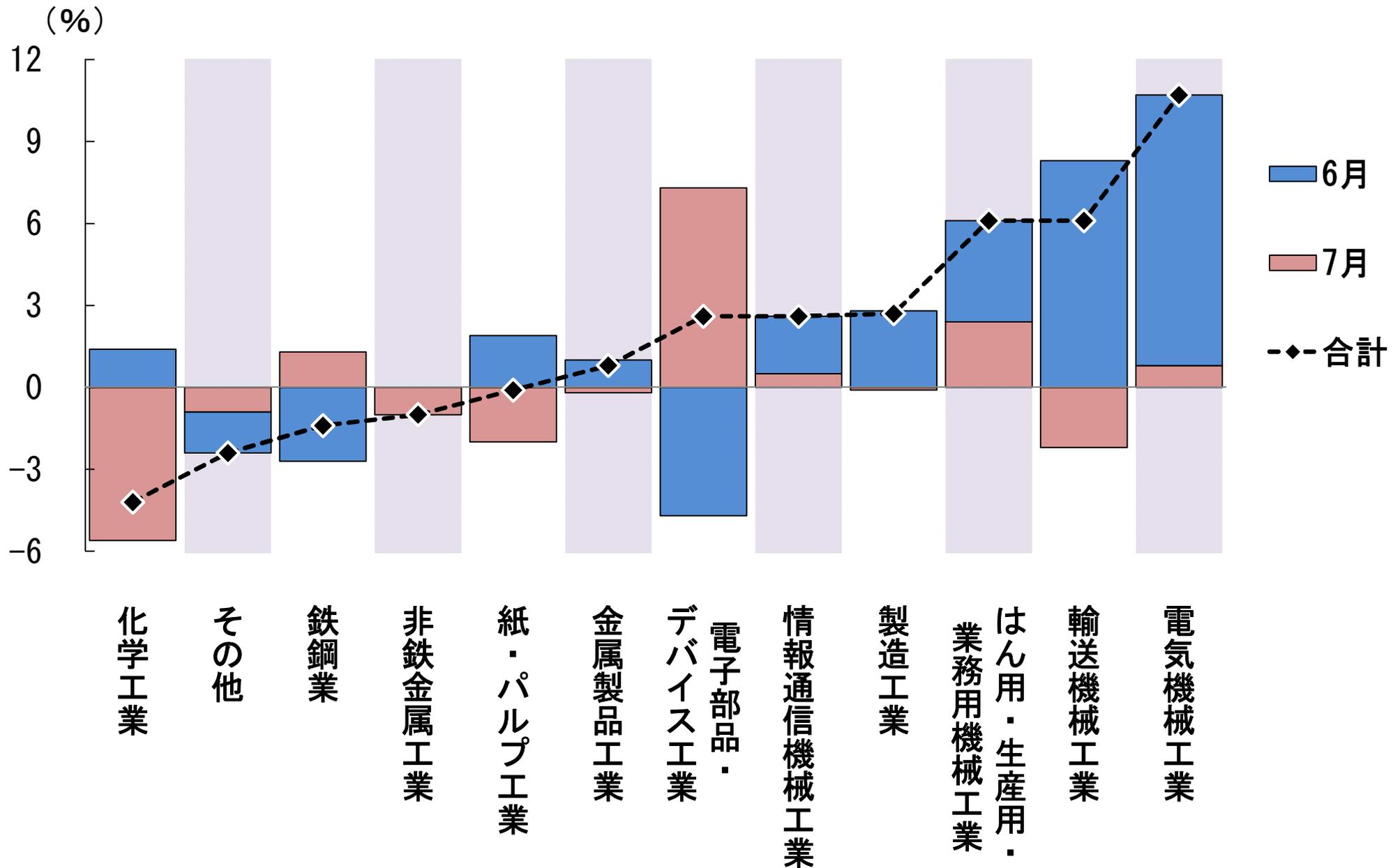
(注) 1. 紫色のシャド一部分は、景気後退局面。
2. 灰色のシャド一部分は、消費税率引上げ。

鋁工業の在庫循環図



(注) 「29 II 速」の生産は4～5月の平均値、在庫は5月末の値を使用。

2ヶ月の生産予測伸び率（製造工業生産予測指数）



平成29年6月生産計画の寄与順位表

上昇寄与業種	計画前月比
輸送機械工業	8.3%
電気機械工業	9.9%
はん用・生産用・ 業務用機械工業	3.7%
化学工業	1.4%
情報通信機械工業	2.1%
紙・パルプ工業	1.9%

上昇寄与業種	計画前月比
金属製品工業	1.0%
低下寄与業種	計画前月比
鉄鋼業	-2.7%
その他	-1.5%
電子部品・ デバイス工業	-4.7%

※非鉄金属工業は計画前月比横ばい

(注) 低下寄与業種は、一番下が最も低下寄与（影響度）が大きくなるように並んでいます。

平成29年7月生産計画の寄与順位表

上昇寄与業種	計画前月比
電子部品・デバイス工業	7.3%
はん用・生産用・業務用機械工業	2.4%
電気機械工業	0.8%
鉄鋼業	1.3%
情報通信機械工業	0.5%

低下寄与業種	計画前月比
金属製品工業	-0.2%
非鉄金属工業	-1.0%
紙・パルプ工業	-2.0%
その他	-0.9%
輸送機械工業	-2.2%
化学工業	-5.6%

(注) 低下寄与業種は、一番下が最も低下寄与（影響度）が大きくなるように並んでいます。